

授業概要、方針、履修上の注意	1-10週目の授業には念のためPCを持参すること。 11回-15週目の事例研究は、4クラス合同で行う。				
教科書・教材	パワーポイント、ビデオ				
授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1	導入 技術者としての自覚 技術者の倫理的責任	2	シラバスの説明。 倫理とはなにか、技術者倫理とは何か、などについて理解する。専門職業人としての技術者の役割や技術者の責任について理解する。(グループ討論)【X-C】【X-F】	課題 (技術者の責任)	
2	技術と環境	2	世界の環境問題を理解し、技術者は世界とどのように関わっているかについて、環境倫理などの観点から考える視点を養う。 【IV-B-3】 【V-F-6】地球温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨を理解している。熱帯林の減少、砂漠化・土壌劣化、野生性生物の種の減少、海洋汚染を理解している。化学物質の管理、有害物質の越境問題を理解している。過去に生じた公害の歴史とその内容(環境要因と疾病の関係)を理解している。開発途上国の環境問題を理解している。	発表準備 課題 (技術と環境)	
3	持続可能な発展 技術者の行動責任と意思決定	2	持続可能な発展について理解する。倫理綱領を理解する。技術者が意思決定を求められる状況を考察し、意思決定に必要な能力について考える。 【IV-B-7】 【VII-C】技術者として、社会に対して有益な価値を提供するために存在し、社会の期待に十分応えられてこそ、存在の価値のあることを理解できる。	倫理綱領について調べておくこと	
4	技術と世界	2	南北問題について考察し、社会問題の解決と技術との関係について考える。 【IV-B-4】	課題 (南北問題)	
5	世界の中の技術者 すぐれた意思決定	2	技術者に必要なグローバルな視野、国際場面で技術者が遭遇する困難について考える。技術者としての信用と公益の確保の両立をもたらす意思決定の可能性について考える。(グループ討論)【VIII-D】	課題 (すぐれた意思決定) 発表準備	
6	科学技術の発展とリスク	2	福島第一原発の事例を通して、技術の発展とリスクについて考える。【IX-C】【IX-F】	課題 (福島第一原発)	
7	リスクマネジメント 情報と社会	2	リスク・マネジメント、リスク・コミュニケーションについて理解する。リスク・コミュニケーションに必要な情報公開と情報分析能力について理解する。 【IV-B-2】	リスクマネジメントについて調べておくこと	
8	倫理的意思決定の方法	2	技術者の説明責任、内部告発、製造物責任について考え、意思決定における技術者と組織や他の技術者との関係について理解する。セブン・ステップリストを理解する。 【IV-B-7】【IX-C】【IX-F】	発表準備	
9	問題解決プロセスの実践	2	セブンステップ・リストを使ったグループ・ワークを通して、倫理的問題の解決方法を実践的に学び、倫理的な課題に力を合わせて取り組んでいく能力を養う。 【VII-B】【VIII-B】	発表準備	
10	発表	2	グループ・ワーク(PBL)の発表【VII-B】	発表準備	
11	機械系における事例研究	2	開発過程での実例に基づいて倫理について考える。 【IV-B】	講義中にレポート作成	
12	情報通信分野における事例研究	2	研究開発過程での技術者倫理について考える。 【IV-B】	関連項目に対する予習復習	
13	技術者として守るべき事	2	開発過程での実例に基づいて倫理について考える。 【IV-B】	ソフトウェア開発管理に関する文献を各自探して読んでおくこと	
14	生物系における事例研究	2	食品製造分野での事例を紹介し、技術者倫理について考える。【IV-B】	雪印食中毒事件	

15	研究報告における技術者倫理	2	STAP細胞とiPS細胞の論文発表を比較検討し、研究報告における倫理を考える。【IV-B】	STAP細胞、iPS細胞、論文発表
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
期末	期末試験			
学習時間合計		30	実時間	22.5
①授業の予習・復習 ②発表準備 ③レポート(その週の講義内容に沿った内容についてレポートを課す。)				1時間×15回 3時間×5回 2時間×15回
備考欄				
(共通記述) ・この科目はJABEE対応科目である。その他必要事項は各コースで決める。				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)